

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○冬期交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細やかな地域支援

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格幹線道路等の整備、一般国道等の現道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。



【石狩・空知地方道路防災連絡協議会 (WEB併用開催)】



【除雪作業】

【今年度の実施 (完了) 状況】

- 道路災害の防止及び災害発生時の被害拡大防止に向けて関係機関相互の連携強化を図るため、石狩・空知地方道路防災連絡協議会を開催(令和5年7月25日)。
- 冬期に向け、冬期道路維持管理情報共有化会議を開催し関係機関との除排雪の連携や雪堆積場の共有等について取り組んだ。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○災害発生時におけるきめ細やかな地域支援

大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のため、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)及びMAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)を派遣し、被災した地方自治体への技術支援を迅速に実施しています。



【令和6年能登半島地震に伴うTEC-FORCE派遣 被災状況調査班(砂防)】



【令和5年3月家きんの高病原性鳥インフルエンザ発生による北海道からの支援要請に対応(千歳市)】

[今年度の実施(完了)状況]

- 令和5年3月、千歳市において家きんの高病原性鳥インフルエンザが発生。北海道からの支援要請に対し、照明車を派遣し、連日に亘る夜間の防疫作業を支援した。
- 令和6年1月、能登半島地震が発生。被害の復旧支援のためTEC-FORCE及びMAFF-SATを派遣。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○地域防災力の向上に向けた取組の推進

大規模災害を想定した各種訓練等により職員の危機管理能力の向上を図るとともに、防災関係機関で構成する協議会等に参画し、密接な連携、情報伝達体制を確立します。

排水ポンプ車、照明車、対策本部車、遠隔操作機械(ロボQs※)、小形無人ヘリコプター、ドローンの操作訓練に自治体職員も参加。開発局が行う災害対策用機械による支援について説明しました。



【自治体職員参加の災害対策用機械操作訓練】

※ ロボQsは、汎用されているバックホウを遠隔操作することができる災害対策用機械で、危険な災害現場での復旧工事で使用されている。

災害協定を締結している関係機関と訓練等を行い、災害時の対応確認、連携強化を図っています。



【NPO法人ポロクルとの災害協定連携訓練】

※ ポロクルを活用した非常参集訓練、リエゾン派遣訓練、TEC-FORCE被災状況調査訓練を実施した。

[今年度の実施(完了)状況]

- 札幌開発建設部と関係機関で締結している災害協定に基づく連携訓練を実施した。
- 防災関係機関で構成する協議会等に参画し、開発局が行う地域支援の概要説明を行い、理解促進に努めた。
- 北海道開発局が保有する災害対策用機械の操作訓練を自治体職員にも公開し、連携体制の確立に努めた。
- 大規模災害時の初動対応訓練として非常参集訓練、大雨災害RP訓練、大規模地震DIG訓練を実施した。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者と連携し無電柱化を推進します。



【整備前】(国道12号江別市野幌町)



電柱、電線が無くなることで、電柱が折れたり、倒れたりする心配が無く、信号機・道路標識、周囲の景観が見えやすくなりました。

【整備後】(国道12号江別市野幌町)

[今年度の実施(完了)状況]

- 国道12号札幌市白石中央、江別市野幌町、砂川市砂川、国道233号深川市深川において、電線共同溝工事を実施。